武　一　中

令和３年４月８日
武蔵野市立第一中学校
学校だよりＲ３－１号

URL:http://dai1-jh.musashino-city.ed.jp/

新学期スタート

校　長　　中嶋　建一郎

令和３年度がスタートしました。新２・３年生の元気な姿を見ることができ、嬉しかったです。４月６日、始業式での話です。

目標についての考え方はいくつかあります。そのうちの一つに、成果目標と行動目標というように分けて考える目標があります。成果目標は、結果目標とも言い、例えば、「英語のテストで９０点以上とる」というような目標です。結果や成果を目標にするもので、テストの問題が易しい場合など、あまり努力しなくても達成できることがありますし、逆に難しいテストで、どんなに努力しても達成できない場合もあります。

一方、行動目標は、「毎日英単語を２０個覚える」というように具体的な行動を示すような目標です。こちらは、自分の努力次第で、達成できる目標です。この行動目標も、何のために行うのかを意識したほうが良いです。そのためには、成果目標と行動目標を組み合わせて「英語のテストで９０点以上とるために、毎日英単語を２０個覚える」というように考えていきます。そして、この行動目標は、自分で調整可能です。英単語２０個は簡単だから、２５個にするとか、英単語だけではだめなので、例文も覚える、というように調整できます。

新学期が始まり、目標を立てるときに、是非、この成果目標と行動目標を意識してみてください。

４月７日の入学式では115名の呼名の後に新入生に向けて「失敗を恐れない」という話をしました。昨年、朝礼で今の２・３年生に話した内容です。入学時に聞いてもらうと、より効果的だろうと考えました。

失敗はしたくない、失敗したら「あの人カッコ悪い、恥ずかしい」と思われるからいやだと考えていませんか。小学生の時にも授業中の先生の質問に、わかっているけれど手を上げない、間違っていたらいやだから手を上げない人がいたと思います。そのように考える気持ちもわかります。

失敗を恐れて次の行動を起こさないと、自分の能力を伸ばすことや、周りの友達が考えを広げるチャンスを逃します。答えが間違っていた場合、正答を知り、自分の良くない点を確認でき、自分を成長させることができます。答えが、他の人が思いつかないようなことなら、周りの友達は考えを広げることができます。

「失敗を恐れない」ことは「チャレンジする」ことでもあります。経験のないことに対して「失敗するといやだから、やらない」という人もいます。そうすると自分の世界が広がりません。「初めてなのだから失敗しても当たり前」の気持ちで様々なことにチャレンジしてほしいのです。

中学校の３年間、失敗を恐れずに、発明家のエジソンの言う「うまくいかない方法」をたくさん見つけてほしいと思います。